

## 第3回首都圏支部医学検査学会の開催にあたって

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会  
首都圏支部 支部長 齊藤 幸弘



第3回首都圏支部医学検査学会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

首都圏支部医学検査学会として3回目となる本学会は一般社団法人千葉県臨床検査技師会の担当で、かずさアーク（かずさアカデミーホール）を会場として開催する運びとなりました。

首都圏支部単独開催としては2回目となる本学会は昨年度の学会や、関甲信支部合同開催の学会と同様に充実した内容で開催されますことは、梅宮敏文学会長、綿引実行委員長をはじめとした千葉県臨床検査技師会会員皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

また、本学会の開催にあたりご支援を賜りました関連医療団体並びに賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本学会では「UNION IS POWER」 ～臨床検査技師の多様性への挑戦～ をメインテーマに開催いたします。

現在、臨床検査の現場では遺伝子学や分子生物学等の新たな検査、検査説明やチーム医療推進に向け、また6月に行われた通常国会において可決された「臨床検査技師等に関する法律の一部改正」が成立しました。この改正により臨床検査技師が診療の補助として採血に加え検体採取ができる事となりました。このような検査環境の変化に対応できる臨床検査技師の育成が重要であると思います。日本臨床衛生検査技師会においても宮島会長のもと学術組織の構築、検査説明のできる技師の育成等、検体採取のための研修等、新たな試みに向け準備を進めているところでございます。首都圏支部は1都2県で9000名を超える会員のいる支部です。ぜひ会員皆様と力を合わせこれからの時代を切り開いてゆきたいと思っております。

最後になりますが、本学会では、特別講演として「ポストゲノム時代の検査部における臨床検査技師の役割」を千葉大学医学部附属病院検査部長 遺伝子診療部長 千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学教授の野村文夫先生にご講演いただき、また公開講演として「東京湾と房総里見史」館山市立博物館館長の岡田晃司先生にご講演をいただきます。その他の企画も多数準備されておりますので会員皆様の研鑽の場、会員相互の交流の場として利用されることを祈念いたします。多数のご参加をお待ちしております。